令和８年１１月４日

調　　査

総務教育常任委員会資料

調査事件５　所管関係施設・事業等の町内視察、
執行方針の取り組み状況について

１　所管関係施設・事業等の町内視察　・・・・・・・・・　２

２　執行方針の取り組み状況　・・・・・・・・・・・・・　８

３　工事等一覧表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５

議会事務局

１　所管関係施設・事業等の町内視察

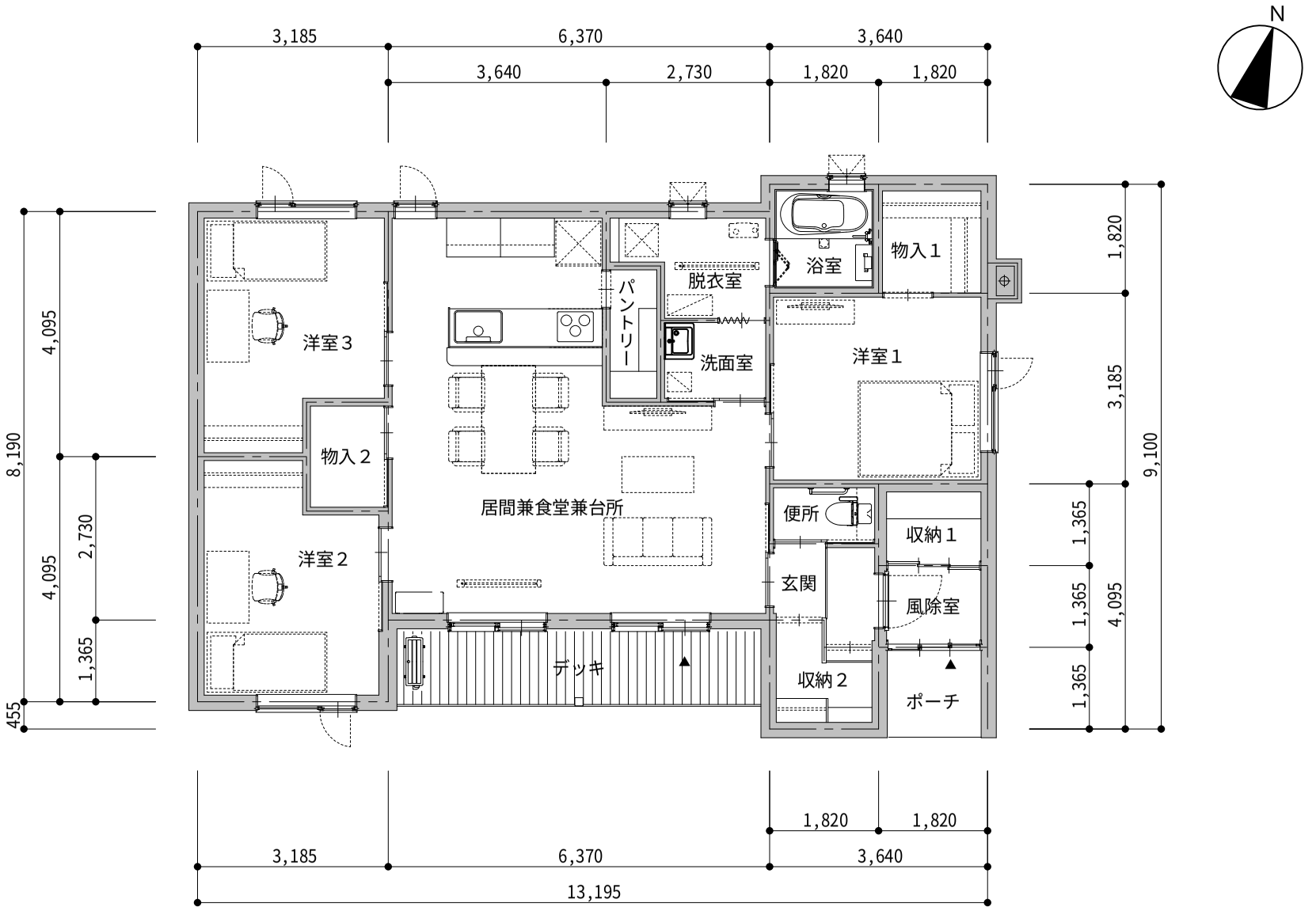
令和８年１１月４日（水）

予定時間	地区	調査項目（事業）	担当課	資料
９：３０		開会		
９：４５	三岳	定住促進住宅整備事業（２号棟）	企　画　課	３
１０：１０	新栄町	新栄町集会所改修工事	総　務　課	４
１０：２５	月崎	防災備蓄品整備事業 （ニュータウン防災倉庫）	総　務　課	５
１０：４０	月崎	給食センター	教育委員会	６・７

予定時間	調査項目（事業）	場所
１１：００	検討会	議場

定住促進住宅（2号棟）整備事業

S = Free

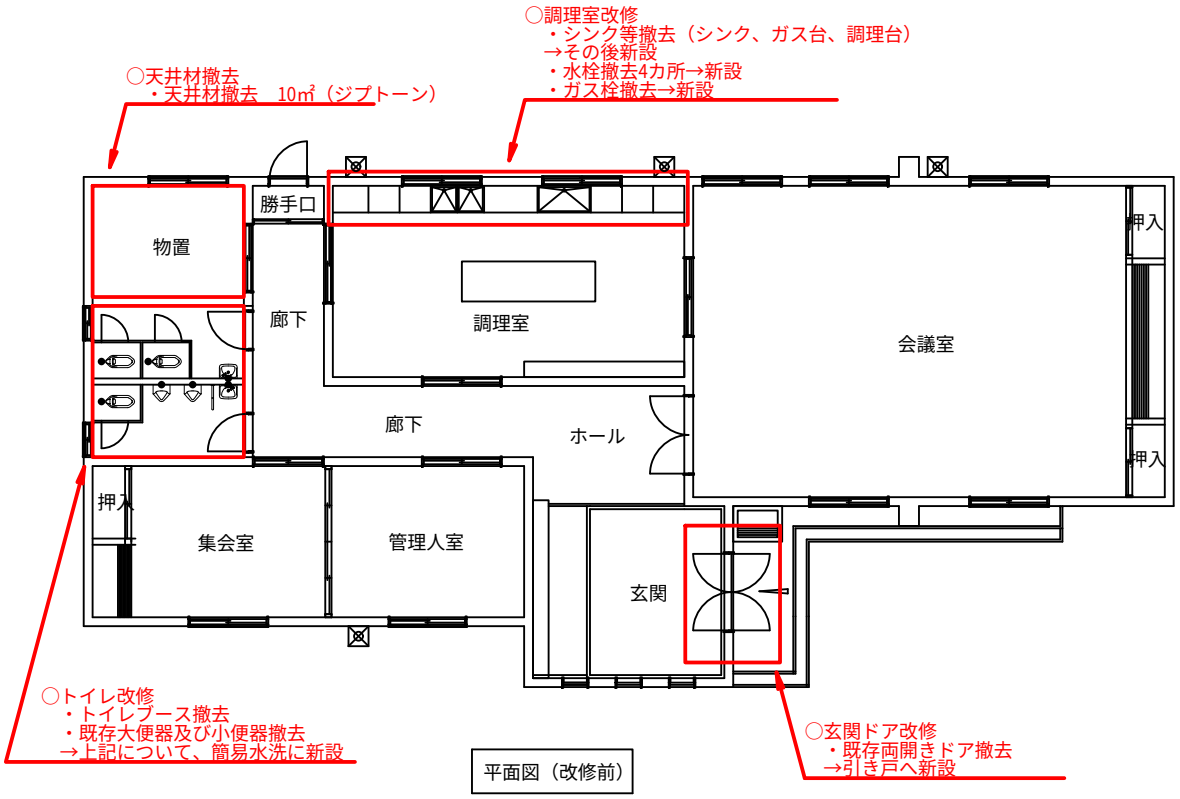


平　面　図

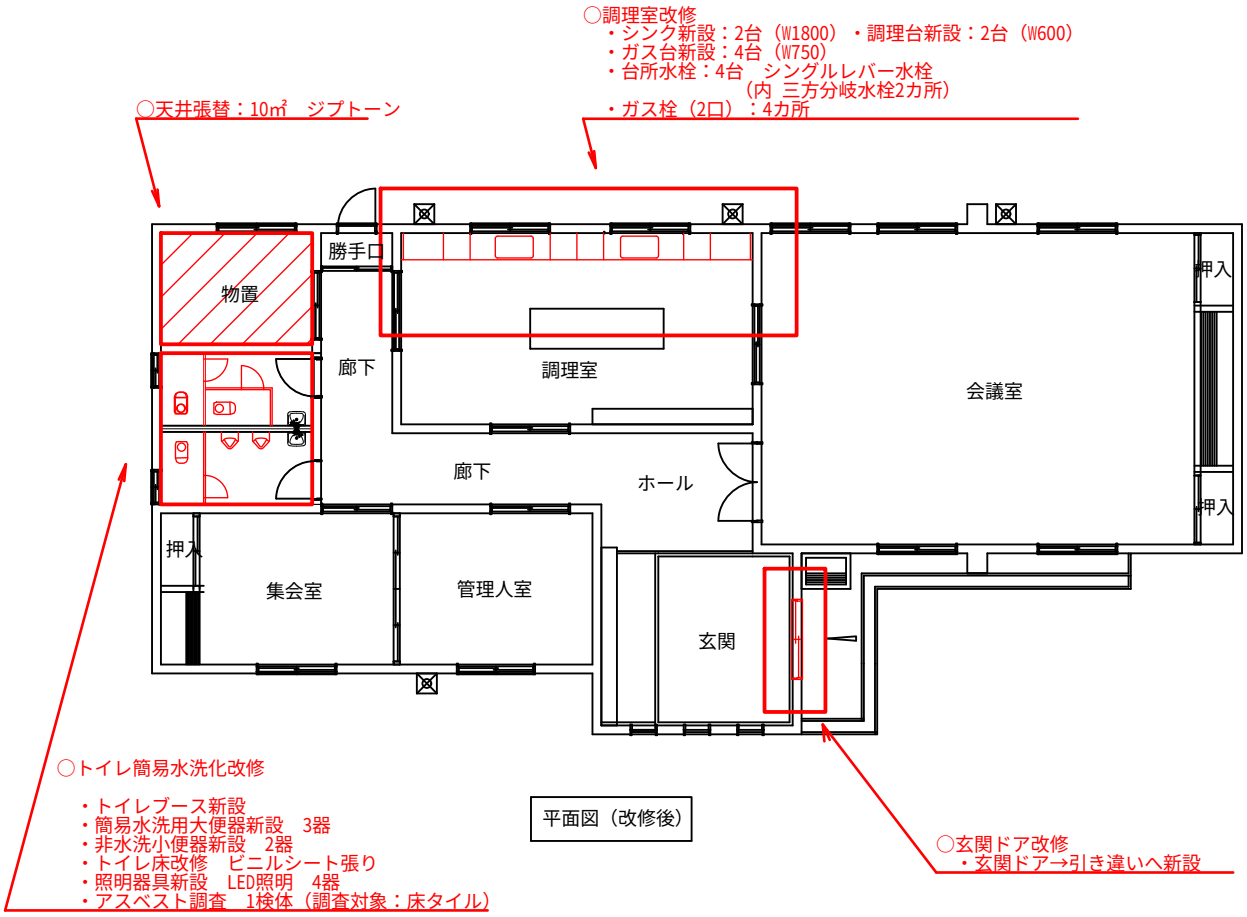
延べ面積：100.50㎡(30.4坪)

新栄町集会所改修工事

S=Free



平面図（改修前）



平面図（改修後）

防災備蓄品整備事業

（ニュータウン防災倉庫）

福島町防災倉庫
設置場所



（設置イメージ図）

【倉庫内搬入予定の備蓄品】

○食料

保存水、保存食（パン、米粉クッキー、ようかん、液体ミルク等）

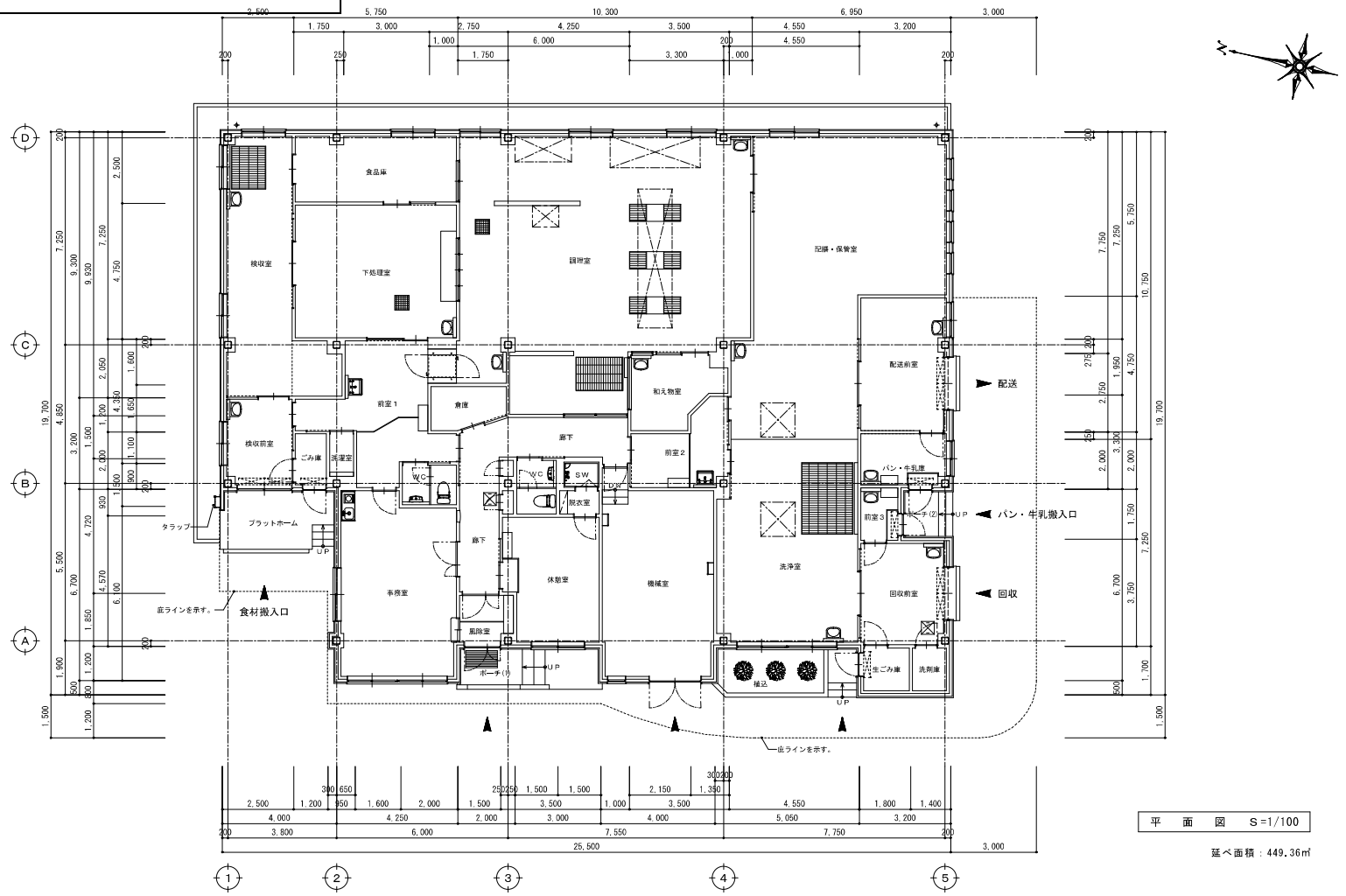
○生活必需品

毛布、ポータブルトイレ

○避難所資機材

懐中電灯、軍手、災害用ウェットタオル

給食センター：平面図

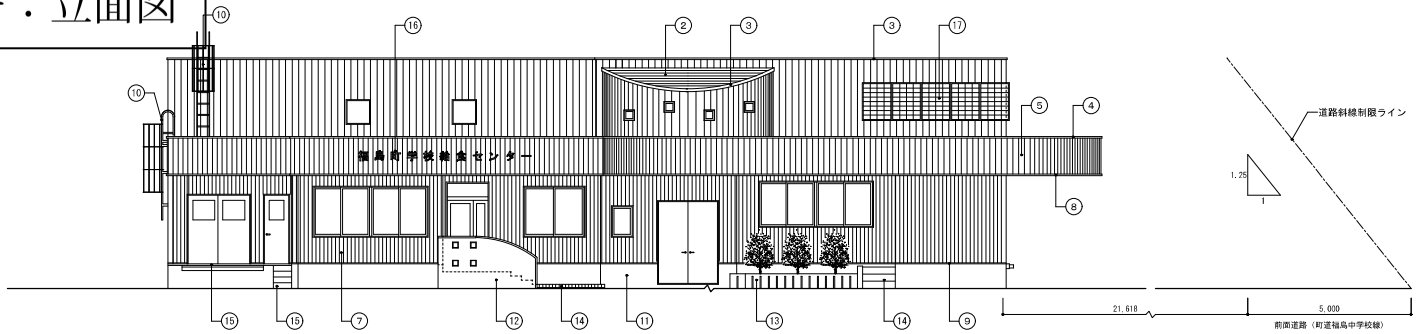


平　面　図　S=1/100

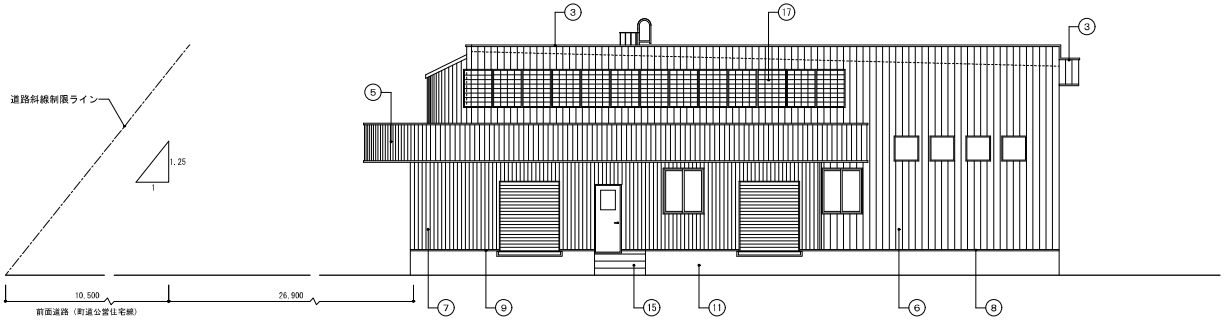
延べ面積：449.36㎡

特記		山田総合設計(株) 一級建築士登録　第135957号　山田俊幸	審査	審査	担当	製図	工事名称：学校給食センター建設工事の内 建築主体工事 図面名称：平　面　図	年・月・日：2011・02・ 縮尺：1／100	図面番号：A－08

給食センター：立面図



西 立 面 図　S=1/100



南 立 面 図　S=1/100

凡　例

①	⌀0.4ガルバリウム鋼板(フラットルーフ)	⑧	アルミ既製水切り（カラー）	⑮	モルタル金ごて
②	⌀0.4ガルバリウム鋼板(横葺)	⑨	アルミ既製水切り（通気用・カラー）	⑯	館名文字(250×250×30：ステンレス製箱型～焼付塗装）×１１文字
③	⌀0.4ガルバリウム鋼板包み（木下地） [定尺：2,000]	⑩	アルミ既製タラップ（安全かご付） L=3,300×２台	⑰	太陽電池モジュール
④	アルミ既製笠木（ケラバ型・カラー）	⑪	コンクリート打放し	◯	
⑤	⌀1.0カラーアルミスバンドレル	⑫	コンクリート打放し～撥水剤塗	◯	
⑥	⌀0.4ガルバリウム鋼板角波サイディング（ボルトレス工法）	⑬	コンクリート打放し(化粧目地)	◯	
⑦	⌀15道南杉本実縦張り（１等材）～ＫＤ	⑭	100角磁器質タイル（段鼻：垂付段鼻タイル）	◯	

特記

山田総合設計(株)
一級建築士登録　第135957号　山田俊幸

審査　審査　担当　製図

工事名称　学校給食センター建設工事の内 建築主体工事

図面名称　立 面 図（１）

年・月・日　2011・02・

縮尺　１／１００

図面番号　Ａ－１２

２　執行方針の取り組み状況

〔令和８年１１月４日（水)〕

施策の内容	確認内容等	担当課
次世代を育成し、つながり、学び合うまちづくり	（１）福島商業高校魅力化の現状と課題について	教育委員会
	（２）部活動の地域展開への取組について	教育委員会
	（３）学校給食における町内産米等の使用状況について	教育委員会
	（４）無形文化財保護の現状と支援について	教育委員会
一人ひとりが協働し、持続可能なまちづくり	（１）住宅リフォーム補助金の利用状況について	企画課
第２青函トンネル構想の実現で未来につなぐまちづくり	（１）第２青函トンネル構想実現に向けた関係団体との連携状況について	企画課

２　次世代を育成し、つながり、学び合うまちづくり

（１）福島商業高校魅力化の現状と課題について（教育委員会高校魅力化推進係）

青少年交流センターは、令和５年４月の供用開始以降、主に町外からの福島商業高校生徒の生活拠点として利用されており、令和７年３月には増築整備を行い、現在、個室５１室、ゲストルーム４室で運営しております。

本年１０月現在の個室利用状況は、表１のとおりです。

管理体制は、ハウスマスターを２名配置し、日々の管理及び生徒が安心して生活できるように精神的支援等の対応をしております。また、委託業者より提供される食事は、朝食をビュッフェ形式にするなどし、個室入居生徒及びゲストルーム宿泊者から好評を得ております。

ゲストルームについても、宿泊者から高い評価を受けており、一度宿泊した方のリピート利用や紹介による新規宿泊により、宿泊者数が増加しております。

なお、本年９月現在のゲストルームの利用状況は、表２のとおりです。

表1）青少年交流センター個室入居状況　（単位：室、人）

区分	部屋数	1学年		2学年		3学年		計	入居率
		道内	道外	道内	道外	道内	道外		
既存棟（男子）	24	8	2	5	4	6	2	27	112.5%
増築棟（女子）	27	4	0	2	1	1	7	15	55.6%
計	51	12	2	7	5	7	9	42	82.4%

※既存棟に入れなかった男子生徒については、増築棟の一部に入居（女子使用部分とは、区画分離）

表2）青少年交流センターゲストルーム利用実績　（単位：室、人）

区分	101号室		102号室		103号室		104号室		合　計	
	宿泊数	延人数	宿泊数	延人数	宿泊数	延人数	宿泊数	延人数	宿泊数	延人数
令和6年度	113	144	74	124			37	42	224	310
令和7年度	163	182	106	113	65	96	43	59	377	450
令和8年度	51	58	57	72	46	58	53	64	207	252
計	327	384	237	309	111	154	133	165	808	1,012

※令和6年度の103号室は、生徒利用により、ゲスト開放なし。
令和8年度は、令和8年9月末までの実績です。

なお、運営費につきましては、利用人数や部屋数により経費が異なるため、一概に比較はできませんが、措置された予算において、利用者に不便がないよう運営に努めております。なお、ゲストルーム使用料は、昨今の物価高に対応するため、今年度より千円値上げしております。

運営費の状況は、表３のとおりです。

表3）青少年交流センター運営費の状況　（単位：人、千円）

項目		令和6年度	令和7年度	令和8年度
入居人数（個室）		27	40	42
歳入	個室使用料	9,435	13,965	17,280
	ゲストルーム使用料	1,203	1,991	3,056
	計	10,638	15,956	20,336
歳出	報償費	0	20	20
	需用費	13,082	9,211	9,661
	役務費	418	504	656
	委託料	14,522	22,490	30,163
	使用料及び賃借料	61	76	77
	備品購入費	347	294	100
	計	28,430	32,595	40,677

※入居人数は、各年度当初の入居人数です。
令和６・７年度は決算額、令和８年度は予算額としております。
令和６年度の増築整備に係る経費は計上しておりません。

（２）部活動の地域移行の現状について（教育委員会学校教育係）

部活動の地域移行（展開）については、まず、生徒減少による学校単位でのチーム編成が困難な状況にあり、生徒の部活動を維持するため、団体競技である「バスケットボール」と「野球」について、松前町から木古内町までの西部四町における拠点校部活動として編成し大会等に参加しております。

また、昨年度に、四町教育委員会及び中学校による「渡島西部四町部活動地域展開推進協議会」を設立し、各町における課題の共有や、拠点校部活動の支援及び地域展開の推進を進めております。

令和８年度から拠点校部活動支援等のため、各町から活動負担金を徴収し、大会参加費やユニフォーム代といった費用を支出しております。

教育委員会としても、地域人材による指導者の確保対策や地域クラブについての検討、その他競技等も含めた地域展開を並行して、西部四町での進捗を把握しながら取り組んでまいります。

（３）学校給食における町内産米等の使用状況について

（教育委員会給食センター係）

当町学校給食では、今年度においても、地元農産物や水産物を、児童生徒に味わってもらうよう献立での使用を進めており、毎月配付している献立表内に、地元産食材の使用を表示し、児童生徒や保護者への使用周知にも努めております。

精米については、令和５年度の高気温による収穫量の減少後、その影響もあり、

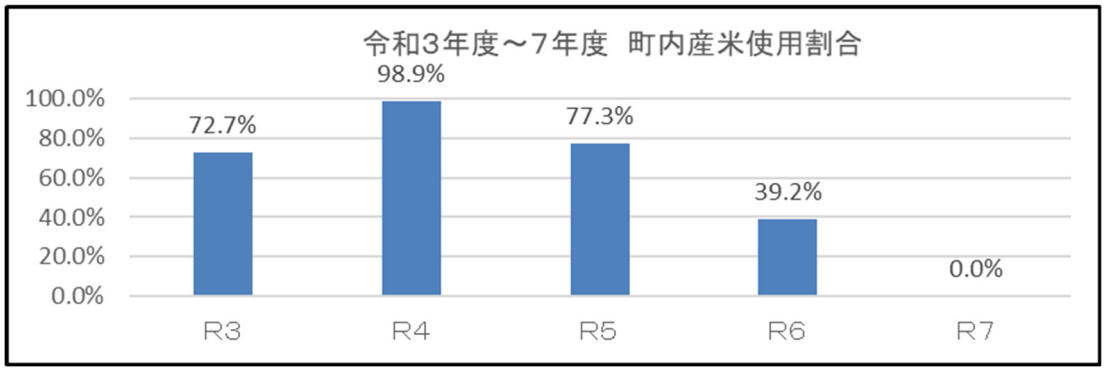
令和６年度使用量が大幅に減少となり、令和７年度は、使用量はゼロとなりました。令和８年度も令和７年度産米の収穫量が高気温や町内の作付面積減少などの要因で、減少したためゼロの状況が続いております。今後も農協と連携の上、可能な範囲での使用に努めてまいります。

他の農産物については、これまでと同様に年間を通じて黒米を使用しているほか、いちごやピーマンなど収穫時期や収穫量にあわせ、可能な範囲での食材使用に努めております。

水産物については、町内でさかんな養殖コンブを使用する回数を増やし、ダシとしての使用のみならず、和え物や煮物など、直接食べる工夫もしております。

また、毎年、福島吉岡漁協から無償提供を受けているウニや町陸上養殖事業によるアワビを活用するなど、地域でも味わう機会が少ない産品も取り入れて、献立作りを行っております。

令和７年度までの町内産米使用状況及び令和８年度の町内産品の収穫・仕入時期は次のとおりです。



【R8年度　町内産品の収穫・仕入時期】※11月以降は予定

食材名＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
白米						■	■					
黒米	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
ジャガイモ					■	■	■					
いちご		■	○									
とまと				■	○	■	■					
ピーマン				■	■	○						
きゅうり					○	■	■					
しいたけ	■	■	■						○	○	○	○
ブルーベリー				○								
トウモロコシ				■	■							
イカ類	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
コンブ	■	■	○ 刻み昆布	■	■							
ウニ		■		▲	■							
ホッケ	■	■	○ すり身					○ すり身				■
養殖あわび	■	■		▲	■	■	■	■	■	■	■	○

① 網掛けの月が主な収穫時期
② ○印は、仕入れた月
③ ▲印は、仕入れ予定であったが、給食センターの都合（貯湯槽故障）で納入できなかった月

（４）無形文化財保護の現状と支援について

町無形文化財の理解に対する小中学校との連携については、令和６年度から、中学校の総合学習において、民俗文化財を学習する時間を設け、令和６年度は、全学年が「四ヶ散米行列」を、令和７年度からは「四ヶ散米行列」を１年生が、「白符荒馬踊」を２・３年生が学習しております。授業では各保存会会員から複数回にわたり演舞の指導協力を受け、その成果発表として１０月２日に開催された「藝術祭」において保護者や来場者に演舞を披露しております。「白符荒馬踊」については、昨年の町村合併７０周年記念式典でも披露されたところです。

また、小学校においても、４年生を対象に「社会科における伝統芸能の学習」の一環として「四ヶ散米行列」の説明と演舞体験を実施しております。一連の学習や体験により、福島大神宮例大祭での行列において、中高校生が演者として参加するといった効果が出てきておりますので、引き続き小中学校の学習との連携に努めてまいります。

国・町指定を受けている「松前神楽保存会」「福島大神宮祭礼行列保存会」「白

符荒馬保存会」の活動に対して、町から助成金の交付を行っております。また、「福島大神宮祭礼行列保存会」においては、今年度の明治安田クオリティオブライフ文化財団の助成を受け、手甲や黒股引といった演者の衣装の更新を図っており、町でも、申請時における推薦書の提出など採択に向けた協力をしております。

今後も、各保存会や文化財保持について、支援に努めてまいります。

５　一人ひとりが協働し、持続可能なまちづくり

（１）住宅リフォーム補助金の利用状況について（企画課）

住宅リフォームの補助制度は、町民が安心して快適に暮らす住環境の向上及び定住人口の確保を図る目的で、令和４年度に制度が創設されております。

令和８年 10 月 15 日現在の制度の活用状況は、延べ 111 件、26,462 千円の補助金支給を見込んでおり、全体的な町内での経済効果は 305,000 千円を超えております。

なお、リフォームに要する工事費については、補助金限度額を超える場合があるなど、補助対象者の負担が大きくなるケースも発生し、また、近年の物価高騰等の影響による工事費用の上昇が続いております。町ではこのような状況を踏まえ、また、令和７年７月に福島町建設協会よりリフォーム補助金額の増額に係る要望を受け、利用者の負担軽減並びに利用促進を図るべく令和８年度より補助率を 2/10（改正前 1/10）、補助金限度額を 1,000,000 円（改正前 300,000 円）とし、制度の見直しを実施しております。

この制度の見直しにより、令和５年度をピークに減少傾向にあった補助件数も増加に転じており、住宅リフォームによる住環境の向上と定住人口の確保、町内経済の活性化が図られたものと考えております。

表１　年度別補助金交付実績一覧

年　度	補助件数	補助金額	工事費総額	受注事業者数
Ｒ４年度	12 件	2,098,000 円	39,876,632 円	6 社
Ｒ５年度	33 件	6,234,000 円	91,342,305 円	13 社
Ｒ６年度	24 件	3,903,000 円	46,272,442 円	8 社
Ｒ７年度	16 件	2,644,000 円	63,247,726 円	8 社
Ｒ８年度	26 件	11,583,000 円	64,346,264 円	7 社
合　計	111 件	26,462,000 円	305,085,369 円	17 社

※１　令和８年度は令和８年 10 月 15 日現在の補助実績見込みの数値。

※２　受注事業者数の合計（17 社）は、これまでに受注実績のある実事業者数となっており、各年度の受注事業者数の合計と一致しない。

表２　工事費段階別補助件数一覧

工事費	300,000 円 ～1,000,000 円	1,000,001 円 ～2,000,000 円	2,000,001 円 ～3,000,000 円	3,000,001 円 ～5,000,000 円	5,000,001 円 以上	合　計
Ｒ４年度	4 件	3 件	2 件	0 件	3 件	12 件
Ｒ５年度	11 件	6 件	4 件	4 件	8 件	33 件
Ｒ６年度	9 件	8 件	2 件	4 件	1 件	24 件
Ｒ７年度	2 件	10 件	0 件	0 件	4 件	16 件
Ｒ８年度	6 件	9 件	4 件	3 件	4 件	26 件
合　計	32 件	36 件	12 件	11 件	20 件	111 件

※　令和８年度は令和８年 10 月 15 日現在の補助実績見込みの数値。

６　第２青函トンネル構想の実現で未来につなぐまちづくり

（１）第２青函トンネル構想実現に向けた関係団体との連携状況について

（企画課）

第２青函トンネル構想の実現に向けた取り組み状況については、渡島総合開発期成会での要望のほか、青森県今別町や中泊町との連携を図りながら関係機関への要請活動を中心に活動しております。

そのような中、昨年 12 月に北海道及び青森県選出の自由民主党所属国会議員を中心に「第２青函トンネル建設プロジェクト推進議員連盟」が設立されております。

当該議員連盟では、これまで勉強会の開催や現地視察などを通じて、青函トンネルの現状や第２青函トンネルの必要性に対する理解が深まるとともに、令和８年９月３日に行われた現地視察後には、渡島西部四町の首長、議会議長にもご出席いただき、第２青函トンネル構想の実現に向けて情報共有を図る機会となりました。

このほか、北海道議会議員や青森県議会議員による勉強会も立ち上げられ、機運の醸成が図られてきております。

また、札幌福島会や北海道福島会による周知活動や、道内各地域のふるさと会が加盟している「北海道ふるさと会連合会」の会報誌や北海道産直フェアなどのイベントでの周知活動により、第２青函トンネル構想を実現する会の会員も増加傾向にあり、現在の会員数は８４９人となっております。

引き続き、議員連盟や渡島総合開発期成会、青森県今別町や中泊町など、関係機関と連携しながら第２青函トンネル構想の実現に向けた活動を展開してまいります。

3　工事等一覧

担当課名　総務課　　（単位：千円）

番号	事業及び工事名	事業の内容等	事業費	請負業者名	着工／完成
1	新栄町集会所改修工事	・トイレ簡易水洗化改修 ・調理室改修 ・玄関ドア改修 ・物置天井改修	6,963	有限会社松岡建業 代表取締役 松岡　清悦	着手 R8.5.20 完了 R8.8.17
2	防災備蓄品整備事業	福島町防災倉庫設置 設置場所 月崎ニュータウン 幅　4,430㎜ 奥行　2,220㎜ 高さ　2,400㎜	840	株式会社ムラカミ 代表取締役 村上　和輝	着手 R8.10.9 完了 R8.12.25

担当課名：企画課　　（単位：千円）

番号	事業及び工事名	事業の内容等	事業費	請負業者名	着工／完成
1	定住促進住宅（２号棟）建築主体工事	子育て世帯等の定住促進を図るための住宅整備	51,139	金澤建設・澤田建築木工 特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社金澤建設 代表取締役 金澤 淳悦	着手 R8. 5.22 完了 R9. 1.31
2	定住促進住宅（２号棟）電気設備工事	子育て世帯等の定住促進を図るための住宅整備	5,247	株式会社 桧山電気工業 代表取締役 国仙 勝彦	着手 R8. 5.18 完了 R9. 1.31
3	定住促進住宅（２号棟）機械設備工事	子育て世帯等の定住促進を図るための住宅整備	12,397	有限会社 小鹿建設 代表取締役 小鹿 政昭	着手 R8. 5.15 完了 R9. 1.31

担当課名　教育委員会事務局　　（単位:千円）

番号	事業及び工事名	事業の内容等	事業費	請負業者名	着工／完成
1	総合体育館屋内消火栓設備改修工事	老朽化した屋内消火栓ポンプの更新とそれに伴う設備の改修	11,770	株式会社金澤建設 代表取締役 金澤　淳悦	着手 R8.4.16 完了 R8.8.27
2	総合体育館熱中症対策設備新設工事	体育館遊戯室へ冷房設備（２台）設置	1,606	㈱桧山電気工業 代表取締役 国仙　勝彦	着手 R8.5.15 完了 R8.7.28
3	ファミリースポーツ公園芝生張替工事	グリーン芝張替 ４コース分	3,487	株式会社広正園 代表取締役 廣正　博之	着手 R8.4.15 完了 R8.11.30